

横川目支店の地域に根ざした支店づくり 園児の作品展示で彩り添える



園児たちの作った作品を前に、笑顔を見せる多田支店長

J A各支店は、地域に根ざした支店づくりを行い、組合員の皆様が気軽に集えることはもちろん、J Aファンの拡大と地域の活性化を図っています。

横川目支店では、地域の幼稚園や保育園、小学校に作品を募集し、7月から年末まで子どもたちの図画や工作などを飾っています。8月は、北上市立横川目幼稚園児の作品を展示。見学をきっかけに支店へ来店する人も増え、職員との会話も増えました。

多田武支店長は「J Aの支店が、金融や共済だけというイメージを払拭したい。地域コミュニティの拠点として気軽に集える場所にしていきたい」と話しました。

花南中央農家組合が2年連続優勝 農家組合男女混合ソフトボール大会



花南中央農家組合が打撃戦を制して優勝しました

J Aは8月20日、石鳥谷ふれあい運動公園（花巻市石鳥谷町）で、「第2回農家組合男女混合ソフトボール大会」を開きました。

各地区の代表チームと昨年の優勝チーム、合わせて12チームが参加し、3チームずつ4コートに分かれて予選リーグを実施。午後からは各リーグ1位のチームが決勝トーナメントで熱戦を繰り広げました。優勝したのは花南中央農家組合で、第1回大会に続いての連続優勝。最優秀選手賞に女性が選出されるなど、女性が投打に渡って活躍する大会になりました。

大会は組合員の健康増進や親睦を深めるために、来年も開催する予定です。

“とれたて”ホップを全国へ 遠野市で収穫作業が開始

遠野ホップ農業協同組合は8月19日、ホップの収穫を始めました。

同時にホップ加工処理センター（遠野市上郷町）の稼働も始まり、トラックで次々と収穫したてのホップがツルごと運び込まれました。組合員たちが選別や調整作業を行ったホップは仙台市のビール工場へ出荷され、香り豊かな生ホップは、キリンビール（株）が数量限定で販売する「一番搾り」とれたてホップ生ビール」の主原料になります。

佐々木悦男組合長は「徹底した栽培指導会が実を結び、今年も高品質なホップに仕上がった。ホップはビールの魂。消費者に香りが良い物を届けた」と意気込みました。



ほろ苦い香りが漂う中、作業を進める組合員たち

寄せ植えて距離縮める 花巻市で婚活イベントを開催

J Aは8月5日、婚活事業として花巻文化村（花巻市葛）で「第4回J Aハッピープロジェクト多肉植物寄せ植え体験&ケーキ交流会」を開きました。

J Aの婚活登録者や花巻市、北上市などから20代〜40代の男女14人が参加し、講師の田村まさみちさんから教わりながら寄せ植えを体験。参加者たちは和気あいあいと交流を深め、互いの距離を縮めながらオリジナルの寄せ植えを作ったほか、ケーキタイムや自己紹介タイムで更に仲を深めました。

参加者は「多肉植物の寄せ植え体験で緊張がほぐれた。ゆっくりと話すことが出来る時間もあり良かった」と笑顔で話しました。



寄せ植え体験後のフリータイムで、距離を縮める参加者たち

直売所「あぜみち」集客へ魅力発信 きたかみ産直スタンプラリー開催



スタンプラリーをPRをする「あぜみち」の職員

きたかみ産地直売所「あぜみち」は、北上市内7店舗が参加し、8月〜10月まで行う「きたかみ産直スタンプラリー」の加盟店です。

参加店舗で買い物をしてスタンプを集めるとクーポン券がもらえるほか、北上市の特産物が当たる賞品プレゼントに応募ができます。今年で9年目を迎え、応募数は開始時の40件から昨年は140件にまで増加。柿崎幹子所長は「スタンプラリーで初来店の方やリピーターのお客さんが増えた。生産者の励みになる」と話しました。

スタンプラリーは10月15日まで行います。

お問い合わせ ☎あぜみち 0197-7111338

地域に愛され続けて40年

女性部花巻支部家庭菜園グループ「青空市」

女性部花巻支部の家庭菜園グループは8月10日、部員が育てた採れたて野菜や花などを販売する「青空市」を花巻支店（花巻市豊沢町）で開きました。

同日は、キュウリやトマトなどの夏野菜を中心に漬物や味噌、花などがズラリと並び、多くの地域住民や支店職員が訪れ部員との会話を楽しみながら旬の野菜を買い求めました。青空市は年2回夏と秋に開いており、40年以上続く歴史を持ち地域住民から愛され続けている。部員との会話や野菜栽培のポイント、調理方法を聞くのが楽しみで訪れる来場者も多くいます。

同グループ代表の藤井梅子さん（71）は「長年続けられるのは待っていてくれる地域の方や支店の協力があるから。仲間たちとの結束は固く、皆で集まって活動することが生きがいになっている」と笑顔を見せました。



部員と来場者の笑顔で溢れる「青空市」